

令和2年度総会の内容を報告します

土佐山夢づくりの会の活動につきましては、新型コロナウイルスの影響により、「4. 29とさやまの日」の中止のほか定期総会も順延しておりましたが、緊急事態宣言が解除されたことなどにより、令和2年6月23日（火）におよそ1カ月遅れで定期総会を開催することができました。

総会では、令和2年度事業計画や役員等が次のとおり承認されましたが、事業計画は新型コロナウイルスの状況に注意しながら進めて行くこととなります。

令和2年度 事業計画

地域内連携協議会活動費補助金活用事業

土佐山学舎一期生が今年度成人を迎えるにあたり、地域で門出をお祝いする機会などを予定しています。

生涯学習まちづくり

あいさつ運動を継続して行います。

独自事業

昨年度策定した土佐山地域活性化計画の実現に向けた実施計画等の検討などを予定しています。

観光・地域広報

広報紙による情報発信を行います。

連携事業

高知大学地域協働学部、地域の写真掲示板事業など、他団体や他地区と連携した事業に取り組みます。

地域環境美化

苗木の手入れや道路愛護作業、環境美化啓発活動を行います。

令和2年度 役員名簿

令和2年度の代表には引き続き山本和正さんが選出されました。また、4月から土佐山地域振興課長に就任されている刈谷昇二課長が新しく事務局長に指名されました。

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	門田 博文	監事	永野 則子	世話人	吉村 忠保
代表	山本 和正	〃	杉本 守	〃	門田 章広
副代表	高橋 幹博	世話人	中山 隆博	〃	鎌倉 聡
〃	中山 久実	〃	車 円	〃	和田 卓英
〃	竹崎 優子	〃	亀山 正純	〃	井上 茂雄
〃	岩崎 昭頼	〃	高橋 大	〃	地引 香
事務局長	刈谷 昇二	〃	山本 堪	〃	田中 俊次
会計	佐藤 嘉一	〃	明智 良一		

とさやま

第38号

2020.8

発行 土佐山夢づくりの会
 連絡先 高知市市民協働部
 地域コミュニティ推進課
 (TEL088-823-9080)
 発行日 令和2年8月1日



◆人口◆ 920人
 (男 450人・女 470人)

◆世帯数◆ 408世帯
 (令和2年6月1日現在)



土佐山夢づくりの会 活動報告

令和元年度収支決算書

● 収入の部

項目	令和元年度		増減 ②-①
	予算額①	決算額②	
前年度繰越金	873,408	873,408	0
事業収入	1,050,000	1,049,632	△368
とさやまの日	650,000	616,500	△33,500
環境美化推進	400,000	433,132	33,132
土佐山マップ	0	0	0
参加費	180,000	132,000	△48,000
総会懇親会	90,000	72,000	△18,000
新年会	90,000	60,000	△30,000
補助金	300,000	300,000	0
寄附金	20,000	20,000	0
預金利息・その他	592	196	△396
合計	2,424,000	2,375,236	△48,764

● 支出の部

項目	令和元年度		増減 ①-②
	予算額①	決算額②	
事業費用	1,390,000	1,388,786	1214
生涯学習まちづくり	1,350,000	1,336,235	13765
観光・地域広報	0	0	0
環境美化推進	40,000	52,551	△12,551
道路・看板等の整備	0	0	0
地域防災活動	0	0	0
催事の振興	0	0	0
懇親会等費用	180,000	122,257	57,743
総会懇親会	90,000	72,000	18,000
新年会	90,000	50,257	39,743
事務費	15,000	8,333	6,667
予備費	839,000	0	839,000
合計	2,424,000	1,519,376	904,624

次年度繰越金 $2,375,236 - 1,519,376 = \underline{855,860}$

令和2年度 土佐山地区区長会報告

令和2年度総会が去る5月14日に土佐山公民館において開催され、令和2年度の役員が選出され、事業計画案、予算案が承認されました。

役員は、土佐山地区区長会会長に高橋幹博、副会長に吉村忠保・和田俊彦、会計に山下広樹が選出されました。

令和元年度 区長会名簿



地区名	氏名	地区名	氏名
菖蒲	長野光保	桑尾	山下広樹
西川	岩門信孝	都積	和田俊彦
梶谷	大石鉄也	網川	畝川宣久
日の浦	山本愛子	弘瀬	吉村忠保
土佐山	永野栄一郎	久万川	大崎裕一
平石	高橋隆文	東川	筒井博志
高川	高橋幹博	中切	大藪博伸

<区長会役員>

■会長：高橋 幹博

■副会長：吉村 忠保・和田 俊彦

■会計：山下 広樹

土佐山アカデミー ～コロナに負けずオンラインサービス中～

土佐山アカデミーでは、コロナで外出自粛要請の始まった3月末から、各種オンラインサービスをスタートし、試行錯誤しながら継続しています。これまで、菖蒲や高川の竹林・工石山付近の湧き水ポイント・土佐ジローの鶏舎・嫁石の梅園などからの中継配信や、たけのこ・土佐ジローの卵・梅をはじめとする土佐山産品の通信販売、またそれらを調理してパソコンの画面越しに持ち寄って食べるイベントや、梅酒・梅シロップを仕込むワークショップなどを開催してきました。



他にも、毎週1回、かわせみで準備した焚き火を、パソコンの画面越しに視聴者の皆さんと囲みながら行うお話会「焚き火 Meetup」も開催しています。あるときは深夜ラジオのように、あるときはひたすら薪割りを、そしてたまにゲストを囲んでお話を聞いたりしています。いずれも、土佐山アカデミーのFacebookページで配信していますので、ぜひご覧ください。



五月のゴールデンウィーク（STAY HOME）期間には、土佐山地域へのオンライン帰省の支援サービスもおこないました。オンラインシステムを使った話合いやイベント、土佐山からの中継など、何かやってみたいことがある方は、ご相談も承りますのでお気軽にご連絡ください。



高知市消防団土佐山分団の活動

土佐山分団では、現在31人の団員が活動しています。

昨年度、土佐山地域では、消防団が非常出動するような火災や災害などの発生もなく、比較的穏やかな1年間でありました。また、昨年度は、小型ポンプ積載車が更新され配属されました（写真参照）。今後、火災や災害時には、威力を発揮するものと思います。

私たちは、火災や風水害、地震等の災害時には地域住民の生命、身体、財産を守るため、日ごろから防火水槽の点検や訓練等を行っていますが、昨年は山林火災などを想定した給水中継、放水訓練を実施しました。また、地域の一人暮らしの高齢者宅を訪問して、火災予防等の啓発活動を行いました。

さらに、土佐山分団では消防の基本操作を習熟させるために、消防操法にも力を入れており、昨年7月には高知市消防団消防操法大会にも出場しています。

今年度も災害のない1年間となってもらいたいものですが、近年大規模な自然災害が全国で頻発しています。何時、土佐山で平成26年のような大水害や南海地震が起きるか分かりません。今後も地域の方と共に地域防災に取り組んでいきたいと考えていますので、ご指導ご協力をよろしくお願いします。

高知市消防団土佐山分団 分団長 山本和正

■ 高知市消防団土佐山分団幹部名簿



分団長	山本 和正	副分団長	森 千利	部長	明智 良一
部長	中山 隆博	班長	車 円	班長	高橋 大

■ 高知市消防団土佐山分団西部幹部名



部長	岩戸 慶治	班長	中野 信也
----	-------	----	-------



学校だより

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、年度当初から休校措置が取られたり、学校行事も三密を避ける対策を取りながら、いつもとは少しかたちを変えて実施することになります。そのようななか、5月25日には学校が再開し、子どもたちの元気な声が戻ってきました。本年度は全校生徒が141名、教職員26名でのスタートになります。

子どもたちが大好きな土佐山学について、当初の計画を見直したり、三密対策を取ったりしながら行きます。1年生は梅の実を取りに行き、収穫した梅でジュースを作っています。2年生は地域の大崎さんに来ていただき、野菜の作り方を教えていただきました。収穫が楽しみです。3年は土佐山地域の探検をして回りました。みんなでゴトゴト石も押しました。4年生は鏡川の学習をしています。6月23日には、鏡川の最初の一滴を見つけに工石山に登りました。5年生は土佐山の恵みの再発見をテーマに、米づくりをします。6年生は昨年度に引き続き、「ゆず祭り」に向けて準備を進めます。今年の開催はきびしいかもしれませんが、昨年出された課題を解決するための学習をしていきます。

7年生は昨年度から取り組んできた看板づくりを継続します。「とさやまっぷ」に情報を追加したり、新しい看板づくりにも挑戦します。8年生は得意な英語を活かして、外国の人たちに土佐山のPRをしたいと考えています。9年生はずっと続けてきた交流をテーマに、土佐山の魅力を発信するためのCMづくりやSNSで交流する方法を考えています。地域の方々には、またお世話をおかけすると思いますが、どうかよろしくをお願いします。

昨年度の土佐山学の取組



土佐山観光ツアー（9年生）



かなばのコサージュを世界へ（7年生）



とさやまっぷで土佐山の魅力発信（6年生）



ゆず祭りは大盛況（5年生）

保育園だより



とさやま保育園は1歳未満児から5歳児まで33名の子どもたちが元気に仲良くあそんでいます。今年度は、コロナ感染拡大防止のため、例年のように開催できなかった行事がありましたが、その分ゆったりと…この時期ならではの色水・砂・どろんこあそびや、プールあそびを十分に楽しんでいます。また、年中・年長児は、プランターや園庭の畑に野菜の苗（トマト、オクラ、枝豆、とうもろこし、きゅうり、スイカ等）を植えて、水やりをしながら子どもたちも職員も日に日に大きくなるのを楽しみにしています。



地域の坂本萬勝さんには、お芋畑を耕していただき、子どもたちがお芋の苗を植えました。秋の収穫が楽しみです！また、青壮年部さんには園周辺の草刈りをしていただき、愛園作業では保護者の方に草刈りや遮光ネット張り、溝掃除等たくさんの方にいろいろなご協力をいただきました。おかげ様で子どもたちが安全に楽しく遊んだり、自然にふれたりする貴重な経験をすることができます。



保護者の方や地域の方にたくさんのお力添えをいただきながら、すばらしい環境の中で、子どもたちは心も体もすくすくと大きくなっており、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

これからも元気いっぱいのかっこいい子どもたちへのあたたかい見守りをよろしく願いいたします。

(とさやま保育園 園長 地引 香)

